

日韓関係修復へ 女性議員が意欲

ソウルで交流

【ソウル共同】超党派の日韓議員連盟に所属する、自民党の野田聖子総務会長ら女性国会議員6人が21日訪韓し、働く女性の労働環境改善や少子化など日韓がともに抱える問題についても、韓国側の韓日議員連盟の女性議員らと協調して取り組んでいくことを確認した。

日韓の議連内に「女性委員会」をつくることで双方は先週合意し、韓国側は金姫廷キムヒョジン女性家族相を長とする委員会を発足させた。日

本側の世話役の小淵優子元少子化担当相によると、日本側でも近く発足する。

野田氏は「(双方の)パイプを私たちでつくってほしい」とあいさつし、歴

史問題で冷え込む両国の対話活性化につなげたいと抱負を述べた。

野田氏らはソウルに設けられた客船セウォル号沈没事故の犠牲者を悼む焼香所も訪問した。

韓国側議員からは「女性政治家の活動範囲拡大を両国で女性の権利向上につなげたい」との意見が出た。旧日本軍の従軍慰安婦問題への言及もあったが、辻元清美衆院議員(民主党)が「(侵略などの責任を認め)村山富市首相談話と河野洋平官房長官談話を踏まえて私たちは韓国に来てい」と伝えたという。



21日、ソウルを訪問し韓国国会で女性議員と握手する自民党の野田総務会長(右)＝共同